

JAFTAB

NEWS

日本貿易学会 No.88 May.2021

本部	〒101-8301千代田区神田駿河台1-1明治大学商学部 篠原敏彦研究室気付
事務局	〒500-8288 岐阜市中鶉 1-38 岐阜聖徳学園大学経済情報学部 河野公洋研究室
東部事務局	〒279-8550 浦安市明海 1 明海大学ホスピタリティ・ツーリズム学部 三輪祥宏研究室
西部事務局	〒581-8511 八尾市楽音寺 6-10 大阪経済法科大学 国際学部 高砂謙二研究室

ご挨拶

会長 吉岡秀輝

『日本貿易学会創設と組織改革の歩み—学会50周年記念』(日本貿易学会編、2009年)によりますと、当学会は、1961年9月29日、30日の両日に設立総会・第1回研究報告会が開催されて学術団体としてのスタートを切ったといえます。初代会長には早稲田大学の上坂西三先生が就任されました。当時、日本は高度経済成長期を迎え、社会全般が著しい変化を遂げている時期でありました。上坂先生は、このような新しい時代にはそれに即応した貿易、産業経営、マーケティング等、新しい分野の研究が必要だと主張され、それに賛同した有志が集まって学会創設の機運が高まっていたといわれています。

それから60年が経ちました。昨年5月、上坂先生ゆかりの学び舎である早稲田大学において60周年記念大会を開催する予定でしたが、ご承知のとおり、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で延期せざるをえない状況に至りました。実行委員長である同大学の田口尚志先生を中心にして実行委員の多くの先生方には、ぎりぎりまで準備に奔走していただきました。結果として、延期になりましたが、準備段階で得られたノウハウは今年度に行われる60周年記念大会に生かされるはずで

さて、新型コロナウイルスの感染状況は、1年以上経過した今も、相変わらずで、衰えを見せておりません。例年ですと、風薫る5月の中旬から下旬にかけて全国大会が、もちろん対面形式で開催されます。しかし昨年は6月にリモート形式での総会・研究報告会を余儀なくされ、今年度も総会は、去る5月22日、同じくリモート形式で開催されました。大学での授業もそうですが、どうしてもリモート形式ですと、教室の反応がつかみにくく、何かしら「隔靴搔痒」の感が否めません。学会報告も同様だと思います。対面形式で報告者と討論者との間で丁々発止の議論が交わされて、より高度の研究成果に昇華されるというものでありま

延期された第60回全国大会は、早稲田大学を主催校として、今年、11月27、28日に開催されます。しかし、この頃までにワクチン接種が十分に進んで、全国的な感染が抑制されるかという、難しいというのが大方の見方のようです。そのため、早稲田キャンパス内での対面の研究報告会は残念ながら不可となり、リモート形式になります。しかし、それでも記念講演、記念イベント、シンポジウムは対面とリモートの併用で実施する予定であります。

世上、「人流」が感染を拡大させるといわれます。今年度の研究報告会がリモート形式での実施となるのも、止むを得ないところでもあります。そのようななか、会員の先生方におかれましては十分な注意を払っておられると存じますが、11月の全国大会には多くの先生方が参加され、活発な議論が交わされることを切望してやみません。

2021年5月

1. 第60回・創立60周年記念大会について

統一テーマ 「日本貿易学会60年の歩みと新時代の貿易—多様なリスクを乗り越えて—」

日 程 : 2021年11月27日(土)、28日(日) 26日(金) 全国理事会

自由論題について報告希望者は、11月20日(土)、12月4日(土) 東部・西部部会で報告
会 場 : 原則オンラインで開催 (ワクチン接種済の方向けに早稲田大学にサテライト会場設置)

【大会一日目】

11月27日(土) 10:30 開会挨拶 会長 吉岡秀輝

学会創立60周年記念「日本貿易学会60年の回顧と展望」

10:40 - 11:50 パネルディスカッション

パネリスト 秋山 憲治(第22代会長) 信 達郎(第23代会長)
岩田 伸人(第24代会長) 篠原 敏彦(第25代・第27代会長)
藤澤 武史(第26代会長) 座長 吉岡 秀輝(第28代会長)

11:50 - 12:10 記念会員総会 表彰など

13:00 - 14:30 統一論題

基調講演『わが国の今後のあり方—多様なリスクを乗り越えて—』

佐藤 正久氏(参議院議員 元外務副大臣) 予定

14:45 - 16:45 シンポジウム

「歴史を踏まえたわが国貿易ビジネスの課題—多様なリスクを乗り越えて—」

パネリスト 柴田 敦志氏(元東芝顧問) 石原 伸志(元東海大学教授)
魚住 和宏(SCMソリューションデザイン代表)
河野 公洋(兼コーディネーター 岐阜聖徳学園大学教授)
学生代表 早稲田大学商学部学生

【大会二日目】

11/28(日) 9:20 開始

会長挨拶 吉岡秀輝

国際セッション 準備中

13:00 - 15:00 特別セッション

シンポジウム『インコタームズ2020の更なる普及を目指して—多様なリスクを乗り越えて—』

パネリスト 椿 弘次氏(早稲田大学名誉教授)
遠藤 健二氏(早稲田大学海法研究所招聘研究員)
長谷川 俊明氏(弁護士・長谷川俊明法律事務所)
水口 久仁彦氏(元・三菱UFJ銀行事務企画部調査役 AIBA認定貿易アドバイザー)
竹内 正実氏(元・日本航空株式会社貨物本部国際貨物販売部荷主担当)
三倉 八市(日商検定推進アドバイザー)
田口 尚志(兼コーディネーター 早稲田大学教授)

15:00 - 15:10 閉会会長挨拶 吉岡秀輝

2. 2021年度 理事会・会員総会 議事録(抄)

(1) 部会・研究会・経済学会連合報告

2020年8月1日(土) [東西合同部会](#): 研究報告①羽田 翔(日本大学)②前野高章、陸 亦群、安田知絵(日本大学)、③長沼 健(同志社大学)

12月5日(土) [デジタル貿易研究部会](#): 研究報告①河野公洋(岐阜聖徳学園大学)、②岩田伸人(青山学院大学)講演 安部憲明氏(外務省 経済局国際貿易課長)

2021年2月20日(土) [西部\(広島\)部会](#)(アジア市場経済学会共催) 研究報告①末永啓一郎(明治大学)、③福本真弓(千葉経済大学)他

2021年度部会・研究報告会予定

ワクチン接種了者を対象に今秋以降、順次対面会場を用意する。リモートとサテライト会場の二元開催
東部①2021年6月26日(土)、②10月頃未定、③11月20日(土)、④例年2月、3月頃未定
西部①<関西>2021年7月24日(土)、②<九州>10月2日(土)、③<関西>12月4日(土)
④<広島>2022年2月19日(土)

研究報告者を募集中 エントリーをお待ちしております。

(2) 研究助成

2020年度新規採択 『神戸港のポテンシャルと将来像』代表 内海芳宏

継続下記3研究については、コロナ禍につき研究活動に支障が認められるため1年継続とする。

研究①『トランプ政権下の通商政策問題:新 NAFTA、韓米 FTA』代表 所 康弘(明治大学)

研究②『国際商取引や電子商取引における実務や法制度に関する研究』代表 長沼 健(同志社大学)

研究③『アセアン域内のグローバル・ロジスティクス』代表 石原伸志(神奈川大学)

(3) 学会誌・研究論文について

①『日本貿易学会誌』第58号 2021年3月発行

第59号締切は例年通り 2021年9月30日(当日消印有効)←投稿票、原稿データなどメール添付でも構いません!

②『日本貿易学会研究論文』第10号 2021年3月発行 WEB公開中

第11号 2022年3月発行 現在4論文公開 9月末締切 随時受付・随時査読・随時公開

尚、本年度については、60周年記念大会自由論題研究報告予定者が11月末日までに投稿した場合第11号に掲載する。(12月以降は第12号へに掲載とする。)

(4) 国際交流

2021年度は、8月26～28日 於：濟州島 国際学術大会開催 本学会3チーム参加予定

【韓国貿易学会国際学術大会(8月)参加者】

1. Investigation on country of origin in the COVID-19 pandemic: a study on the trust of the country - Masato Shoji (Takachiho University), Hiroto Soga (Kushiro Public University of Economics), Toshihiko Shinohara (Meiji University, Former chairman in JAFTAB)
2. The influence of the reformed commercial law on the choice of transport documents in Japan - Ken Nagananuma (Doshisha University) and Momotaro Takamori (Kwansei Gakuin University)
3. The impact of free trade agreements on antidumping actions - Joonheon Song (Tokyo International University)
(海外からは全てオンライン参加)

12月17日 韓国貿易学会冬季学術大会が開催予定 日韓セッションが開催される可能性があります。

(5) 60周年記念顕彰

理事会にて、60周年記念顕彰者選考委員会を設置、公募の結果、永年に渡る本学会運営への寄与、顕著な研究業績の下記会員、賛助会員、その他を理事会・総会でお諮りし、下記の通り、表彰者を決定しました。

- ①神田善弘先生 1935年生 1954年財団法人海外市場調査会(JETRO)、1994年広島修道大学教授、2007年より広島修道大学名誉教授。理事(1997-2001年、2002-2006年)、監事(2001-2002年)
- ②中川十郎先生 1935年生 1959年日綿実業(株) 1992年より愛知学院大学、1998年には東京経済大学、現在:名古屋市立大学22世紀研究所特任教授、国際アジア共同体学会学術顧問、日本ビジネスインテリジェンス協会会長、中国対外経済貿易大学客員教授、同大連外国語大学客員教授。2014年には東久邇宮国際文化褒賞を授賞。理事(1999-2002年)
- ③田口奉童先生 1943年生 1968年東京銀行、1998年財国際通貨研究所、2000年より同志社女子大学、2015年より同志社女子大学名誉教授、現在:名古屋市立大学 22世紀研究所特任教授。理事(2005-2008、2010-2014)、監事(2003-2004)
- ④桑名義晴先生 1947年生 1973年富士短期大学、1991年千葉商科大学、2008年より桜美林大学、2018年より桜美林大学名誉教授。理事(2005年、2007-2010年、2012年～2016年)
- ⑤(財)日本関税協会 様 ⑥(株)文真堂 様 ⑦(社)貿易アドバイザー協会 様 ⑧韓国貿易学会 様

2021年11月27日(土)60周年記念大会会員総会にて表彰。

(6) 会員動静

新入会員

谷口 成伸 福井大学大学院 教授 渡邊 壽大 石巻専修大学経営学部 助教
 宮野 泰 日本大学大学院総合社会情報研究科 中田 茂希 日本大学大学院総合社会情報研究科

退会 7名(正会員4名、一般会員3名)

会員移動

大重 康雄 志學館大学	藤波 大三郎 目白大学短期大学部
柳田 志学 目白大学	長田 元 富山短期大学
深澤 光樹 関西大学	薬師寺 朗 扶桑連携研究所
内澤 まゆみ 自宅転居	橋本 雅隆 自宅転居
陳 雲芳 自宅転居	王 玉蘭 自宅転居
南雅一郎 自宅転居	韓 洛鉉 韓国貿易学会会長就任
石原伸志 → シニア会員	中村貞彦 → シニア会員
樋口壽男 → シニア会員	笹沼喜美男 → シニア会員

名誉会員

- ①山上 徹先生 1943年生 1974年日本大学、1999年同志社女子大学、2014年より同志社女子大学名誉教授、梅花女子大学教授。日本港湾経済学会、日本観光ホスピタリティ教育学会、日本ホスピタリティ・マネジメント学会にて会長を歴任。理事(1997-2000年東部、2003-2006、2008-2011年西部)、監事(2006-2007年)
 ②秋山憲治先生 1948年生 1980年愛知大学、1997年神奈川大学、2018年より神奈川大学名誉教授、神奈川大学アジア研究センター客員教授。第22代会長2007-2008年 理事(2004年、2005-2008年)

(7) 選挙制度の改訂

昨年総会以降、懸案となっていた役員選挙について、理事会では選挙制度検討委員会を設置、理事会・会員総会にて、下記の通り制度改訂を行う事となった。また、改訂に伴う会則、規定の改定を行った。

①郵便による役員候補者推薦投票を廃止し、代わるものとして、被選挙権を有する会員向けに事前に役員候補辞退照会を行う事について2021年秋期全国理事会までに制度化する。(何かしらの事由で、役職に就くことを辞退することの保証)

②被選挙権の無い方のリスト作成について廃止する。

③ ①、②に伴い、選挙当日配布する被選挙者リストへを作成し公開する。選挙当日(全国大会1日目)は、受付時に「被選挙権を有する会員一覧」として選挙権があるもののみ配布する。

④ 役員降板制について、「1期を限度として重任を妨げない。また再任も妨げない。」

⑤ 理事定数の削減(現状26名) 東西5名の理事改選(東は、隔年で6名)、総数21名とする。

⑥ 定年の延長 72歳(次回選挙の場合、1950(昭和25)年生以降の正会員を被選挙者とする)←1955年生(変更後の詳細は会則、規定をご覧ください。)

(8) 第61回全国大会

富山大学 〒930-8555 富山県富山市五福3190 岸本寿生理事 王大鵬元理事・元監事
 2022年 6月 11日(土)ー 6月 12日(日) 開催予定

例年通り、準備委員会(実行委員会)の組織、統一論題のご提案は、秋期全国理事会後ご連絡致します。

(9) 60周年記念行事 日本貿易学会叢書4巻シリーズの公刊

会員減への取り組み、還暦を迎えた学会広報、研究活動の活性化を目的として、下記4巻の叢書を上梓する。

現在、理事会に在籍する4人の会長、元会長に編著者として、

①貿易実務編 監修者 篠原敏彦(前会長)、②貿易政策編 監修者 岩田伸人(元会長)、

③国際ビジネス編 監修者 藤澤武史(元会長)、④SCM編 監修者 吉岡秀輝(現会長)

50歳代以下の若手研究者 50歳代以下の会員には、編著者から提示される章立てに対して公募期間を設ける。採否は編著者に一任、否の論文は部会全国大会などで研究報告を推奨し、研究論文などで公刊。著者の半数は、学会外の方で、新規に入会して頂ける方とする。(学会ホームページでの公募情報をお待ちください。)

事務局からのお願い

1. ご住所・メールアドレス・ご所属の変更など、各種変更のお届けをお願い致します。
2. 部会などでの積極的な研究報告へのご登壇をお待ちしています。尚、口頭での研究報告とそれに伴う研究論文の公刊は一对の研究業績です。研究論文の投稿もお待ち申し上げております。
3. 『学会誌』第 59 号の締切は例年通り、9 月末日です。
4. 『研究論文』第 11 号の締切は 9 月末日ですが、上記の通り『60 周年記念大会 自由論題の部』にて研究報告の方は 11 月末日まで受け付けます。(12 月以降のご投稿は、第 12 号にて掲載となります。)
5. 日本貿易学会学会賞(以下、学会賞)への応募を 2022 年 3 月末日まで受付いたします。貿易に係わる学問の向上発展に資するような研究成果で、下記要項を御覧になられた本学会会員より応募作を期限までにお寄せくださるよう、お待ち申し上げます。
 - ① 学会賞を申請または推薦をしようとする会員は、2021 年 1 月から 2021 年 12 月までに刊行された著書、論文ならびに内容要約書(2000 字以内)を各 3 部、2020 年 1 月末日までに学会賞選考委員会の指定先に提出しなければならない。
 - ② 学会賞は日本貿易学会学会賞と日本貿易学会奨励賞に分かれ、1. 著書の部(単著、共著)と 2. 論文の部(単著、共著)が対象となる。
6. 研究助成については、本年度は 6 月末日迄(採否は秋期全国理事会にて)、来年度は 2022 年 3 月末日迄(採否は第 61 回全国大会時の理事会にて)です。特に若手会員の方、奮ってご応募下さい。
7. 満 70 歳を越えた会員の方について、シニア会員への変更をお考えの方は、郵便などではなく、メールや学会ホームページ上のお問い合わせページから受け付けております。
8. 本年度の会費未納の方は、お振込みの程、宜しく願い申し上げます。

郵便振替口座 00100-9-513578 日本貿易学会

他行から振込の場合 ○一九(ゼロイチキュウ)店 当座 0513578

9. 学会ホームページ、Facebookページをご高覧下さい。

<http://jaftab.org/>



<https://www.facebook.com/JAFTABacademy/>



googleなどで検索して
来訪して頂くと助かります。

お問い合わせ他、office@jaftab.org [お問い合わせページ](#)をご利用ください。